

〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ③〉

2018年9月18日

本部建設キャリアアップシステム担当発

①機器設置日程調整依頼がきました！

9月13日、全建総連(システム事業推進センター松岡さん)を通じて、富士フィルムイメージングシステムズ(株)のシステム担当者より連絡があり、機器設置のスケジュール相談依頼がありました。日程表に希望設置日(第1希望○、第2希望△)を記入・返送することになります。機器発送・設置技術者手配に10営業日必要だとしています。4支部・本部の担当の皆さん、よろしくお願いいたします。

②賃対部の事業所「算定基礎届アンケート」、システムを「知らない」38%

賃対部は法定福利費別枠請求ができていかなどの実態把握のため、各支部から表記アンケートを集約していますが、9月13日に中間集約がされました(17支部60社分)。キャリアアップシステムを「知らない」38.3%、「登録した」3.3%、「登録するか検討中」18.3%、「登録の予定」16.7%、「NA」23.3%でした。「知らない」と「NA」で52.6%、まだ半数の仲間が知らない状況です。また、「登録した」、「登録予定」では20%で、中身を知れば半数近くは登録が必要と認識するようです。限られたデータ数ですが、組合はまずは周知を徹底し、知った事業所には意義と申請の具体的な手続き説明をすすめることが課題となることがわかります。

③青年部活動者会議(9/9)で建設キャリアアップシステムの意義を学習

27支部約70人で青年部活動者会議が開かれ、システムの意義学習をしました。「労働環境をよくする新しい制度だ」「職域を守るためにもキャリアアップシステムの導入は大切」「賃金アップいい仕事のかくとかにつながる事を期待」「適切な運用が行われればとてもいいシステムになる」などの積極的な受け止めのある一方で、「建設業につく方が排除されないように注意も」「導入は難しい」「職人の処遇改善につながるかは疑問」「カードリーダーの普及も大切だ」などの疑問・意見もありました。システムは産業民主化と組織課題などの広い範囲にわたって関連があるため何度も学びあい、青年の未来の賃金などの待遇を向上させるものですからみんな登録を推進しましょう。

④新ポスターを配布予定

システムの運用開始が4月となったため、これを反映した新ポスターが配布されるということです。支部6枚前後の配布予定で準備します。建設キャリアアップシステムのHPのトップページのインフォメーションからダウンロードもできます。

⑤厚生労働省、システムへ登録した技能者は賃金助成を割り増し

厚生労働省は2019年度概算要求のなかで、人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース)で、技能者登録すれば従業員の助成対象の受講させた事業主に、1年間は通常の賃金助成に10%上乘せする(1日7600円→8360円)としました。時間外労働等改善助成金も拡充、活用が求められます。

以上